

# 日本作物学会東北支部会 第59回総会、講演会および現地研修会プログラム

会場：宮城大学食産業学部  
宮城県仙台市太白区旗立 2-2-1  
会期：平成 28 年 8 月 22 日(月)～23 日(火)

## 総会および講演会

平成 28 年 8 月 22 日(月)

一般講演会 11:00～12:00  
13:00～14:45

総 会 15:10～16:00  
情報交換会 18:00～20:00

第1会場：講義棟 1 階 大講義室、  
第2会場：講義棟 1 階 102 講義室  
※会員控室：講義棟 1 階 101 講義室  
会場：講義棟 1 階 大講義室  
仙台駅前「瑠璃の間」 TEL 022-738-8834  
※会場が変更になりました。 参加費：4,500 円

## 評議員会

平成 28 年 8 月 22 日(月) 9:00～10:45 会場：講義棟 2 階 201 講義室

## 現地研修

平成 28 年 8 月 23 日(火)

集合 8:20 (JR 仙台駅前)

集合 9:00 (宮城大学食産業学部)

見学 9:50～10:40 JA 加美よつばラドファ

(パックご飯(金のいぶき等)製造工程の見学等)

視察 11:10～11:50 宮城県色麻町産業振興課(エゴマ栽培の取り組み等)

昼食 12:10～13:30 昼食 「味<sup>あじさいかん</sup>彩館 ふるさと」 TEL 0229-65-3569

JR 仙台駅前 14:30 頃

宮城大学食産業学部 15:10 頃

参加費：2,000 円

## 運営委員会からのお願い

- 講演資料は、講演番号を付し、**A4 版で 80 部を 8 月 10 日(水)**までに、運営委員会事務局宛にお送り下さい。
- 講演にはパソコンによるプロジェクターが利用できます。スライド及び OHP は使用できません。パソコン利用の方は、CD または USB に発表用ファイルを Windows 版 PowerPoint で保存し、郵送により 8 月 10 日(水)までに、運営委員会事務局宛にお送りください。これ以外のソフトを利用する場合は、各自でパソコンを持ち込み、プロジェクターに接続願います。
- 情報交換会および現地研修へ参加希望の方で、まだ申し込まれていない方は、8 月 10 日(水)までに運営委員会事務局へお知らせ下さい。

[運営委員会事務局]

住所：〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立 2-2-1 宮城大学食産業学部

担当：資源植物生産学研究室 中村聡

TEL/FAX：022-245-1278

E-mail：[nakamurs@myu.ac.jp](mailto:nakamurs@myu.ac.jp)

会場案内

総会、講演会および評議員会 会場

宮城大学食産業学部 (宮城県仙台市太白区旗立 2-2-1)

(交通)

- 仙台駅から JR JR【長町駅】下車(190 円)
  - 宮城交通バス【長町駅】乗車
  - 東口バスプール③の「仙台南ニュータウン」か「日本平」行
  - 【宮城大学食産業学部前】下車(約 20 分、320 円)
- 仙台駅から地下鉄 地下鉄南北線【長町南駅】下車(250 円)
  - 宮城交通バス【長町南駅・太白区役所前】乗車
  - バスのりば④の「仙台南ニュータウン」か「日本平」行
  - 【宮城大学食産業学部前】下車(約 20 分、320 円)
- 仙台駅からバス 西口バスのりば⑦宮城交通バス【仙台駅前】乗車
  - 「仙台南ニュータウン」か「日本平」行
  - 【宮城大学食産業学部前】下車(約 40 分、460 円)

○JR 長町駅、地下鉄長町南駅からタクシーで約 30 分(料金 3,000 円前後)

※宮城交通バスの時刻等の詳細はこちら(<http://www.miyakoujikoku.com/>)

※バスの便数は多くないのでご注意ください。

※車で来られる方は、来客用駐車場をご利用下さい。受付で駐車許可書を配布します。

※昼食について

構内に大学生協がありますが、8月22日は短縮営業(購買部:10:30-13:30)の予定です。お弁当、パン等がありますが数に限りがあります。大学周辺にはコンビニ、ATMはございません。8月3日(水)まで大学生協でお弁当(飲み物付きで1,000円程度)の予約(事務局までご連絡下さい)を受け付けます。

8/22 情報交換会会場へのバス

【宮城大学食産業学部前】

- 県庁市役所前行  
15:58 (仙台駅前直行)
- 長町駅東口行  
16:29、16:58  
(【長町南】で下車。地下鉄に乗り換えて仙台駅前へ  
【長町駅西口】で下車。JRに乗り換えて仙台駅へ)



# 日本作物学会東北支部会第59回講演会プログラム

(講演時間12分 質疑応答3分)

開始時刻	第1会場(講義棟1階 大講義室)		第2会場(講義棟1階 102講義室)		開始時刻
	講演番号	演題・発表者・所属	講演番号	演題・発表者・所属	
11:00	1	水稲紫黒米糯品種「夢紫」の育成を目指して 2. 育成経過と玄米の紫黒色発現に関する知見 ○金 忠男 <sup>1</sup> ・安部光夫 <sup>2</sup> ・渡邊和善 <sup>2</sup> (1)仙台市在住・ <sup>2</sup> 大崎市古代稲生産組合)	12	クワイの葉面積推定方法に関する研究 ○佐藤好宣・中村聡・齋藤満保 (宮城大学大学院食産業学研究科)	11:00
11:15	2	岩手県沿岸南部地域の気象条件における直播栽培に適する水稲品種の検討 ○小館琢磨 <sup>1</sup> ・太田久稔 <sup>2</sup> ・福島陽 <sup>2</sup> ・太田裕貴 <sup>1</sup> ・菅原浩視 <sup>3</sup> (1)岩手県農業研究センター・ <sup>2</sup> 農研機構東北農業研究センター・ <sup>3</sup> 奥州農業改良普及センター)	13	マコモの普及拡大と研究上の問題点 ○三枝正彦 (宮城大学食産業学部)	11:15
11:30	3	岩手県における水稲新品種「銀河のしずく」の品種特性 ○小館琢磨 <sup>1</sup> ・仲條眞介 <sup>1</sup> ・尾形茂 <sup>1</sup> ・小綿寿志 <sup>2</sup> ・菅原浩視 <sup>3</sup> (1)岩手県農業研究センター・ <sup>2</sup> 中央農業改良普及センター・ <sup>3</sup> 奥州農業改良普及センター)	14	水田転換畑における狭畦栽培が2品種のソバの生育・収量に及ぼす影響 ○片山勝之 <sup>1</sup> ・齋藤秀文 <sup>2</sup> (1)農研機構西日本農業研究センター・ <sup>2</sup> 農研機構東北農業研究センター)	11:30
11:45	4	慣行栽培における水稲耐塩性品種「Kaijin」の収量性および食味関連理化学特性 ○阿部陽 <sup>1</sup> ・高木宏樹 <sup>1</sup> ・仲條眞介 <sup>2</sup> ・寺内良平 <sup>1</sup> ・黒田栄喜 <sup>3</sup> (1)岩手県生物工学研究センター・ <sup>2</sup> 岩手県農業研究センター・ <sup>3</sup> 岩手大学農学部)			
昼 休 み					
13:00	5	水稲鉄コーティング湛水直播栽培における種子の浸漬時間が発芽に及ぼす影響 ○菅野博英 <sup>1</sup> ・白土宏之 <sup>2</sup> ・佐々木哲 <sup>3</sup> ・牧原邦充 <sup>4</sup> (1)宮城県古川農業試験場・ <sup>2</sup> 農研機構東北農業研究センター・ <sup>3</sup> 小泉商事(株)・ <sup>4</sup> (株)クボタ)	15	多収のための施肥管理がダイズの生育収量に与える影響 ○持田秀之 (前 農研機構東北農業研究センター)	13:00
13:15	6	水稲早生品種「ほっかりん」の乾田直播栽培 ○工藤予志夫・福沢琢磨 (青森県産業技術センター農林総合研究所)	16	散播浅耕栽培したダイズの収量、品質 ○松波寿典 <sup>1</sup> ・佐藤雄幸 <sup>2</sup> ・金和裕 <sup>3</sup> (1)農研機構東北農業研究センター・ <sup>2</sup> 秋田県農林水産部・ <sup>3</sup> 秋田県農業試験場)	13:15
13:30	7	低窒素投入条件下における苗立ち数が湛水直播水稲の生育に及ぼす影響 ○三浦恒子 <sup>1</sup> ・進藤勇人 <sup>1</sup> ・田口嘉浩 <sup>2</sup> (1)秋田県農業試験場・ <sup>2</sup> 秋田県平鹿地域振興局)	17	土壌水分の低下がマメ科作物の生理生態的特性に及ぼす影響 ○松波寿典 <sup>1,2</sup> ・大木行彦 <sup>2</sup> ・大寺真史 <sup>3</sup> ・国分牧衛 <sup>2</sup> (1)農研機構東北農業研究センター・ <sup>2</sup> 東北大学大学院農学研究科・ <sup>3</sup> 福島県農業総合センター)	13:30
13:45	8	水稲の幼穂形成期から減数分裂期の葉色を維持する側条施肥と疎植による省力安定生産技術 ○三浦恒子 <sup>1</sup> ・進藤勇人 <sup>1</sup> ・薄井雄太 <sup>1,2</sup> (1)秋田県農業試験場・ <sup>2</sup> 現 秋田県仙北地域振興局)	18	大潟村におけるダイズの安定・多収生産技術について農家アンケート結果から考える ○露崎浩・高橋順二・藤井吉隆 (秋田県立大学)	13:45
14:00	9	平成27年産米の品質について ○水多昭雄 (全国農業協同組合連合会 宮城県本部)	19	カットソイラ施工が土壌排水性およびコムギの生育・収量に及ぼす影響 ○露崎浩 <sup>1</sup> ・高橋順二 <sup>1</sup> ・矢治幸夫 <sup>1</sup> ・北川巖 <sup>2</sup> (1)秋田県立大学・ <sup>2</sup> 農村工学研究所)	14:00
14:15	10	福島県における特別栽培米の推移と課題 ○荒川市郎・三浦一也・片桐英昭 (全農福島県本部農業技術センター)	20	岩手県における小麦子実品質の特徴と変動要因について ○小綿寿志 <sup>1</sup> ・阿久津健 <sup>2</sup> ・小原公則 <sup>3</sup> (1)中央農業改良普及センター・ <sup>2</sup> 全農岩手県本部・ <sup>3</sup> 岩手県農業研究センター)	14:15
14:30	11	平成27年夏季の低温寡照が福島県浜通りの水稲に及ぼした影響 ○菅野拓朗 <sup>1</sup> ・川島寛 <sup>2</sup> ・朽木靖之 <sup>3</sup> (1)福島県農業総合センター浜地域研究所・ <sup>2</sup> 福島県農業総合センター会津地域研究所・ <sup>3</sup> 福島県県中農林事務所)			